



標準 IP アクセス リストのロギング

標準 IP アクセス リストのロギング機能は、標準 IP アクセス リストによって許可または拒否されるパケットに関するメッセージをロギングする機能を提供します。アクセスリストに一致するパケットによって、デバイスコンソールにあるパケットに関する情報メッセージがロギングされます。

このモジュールは、標準 IP アクセス リスト ロギングに関する情報を提供します。

- [標準 IP アクセス リストのロギングに関する制限事項 \(1 ページ\)](#)
- [標準 IP アクセス リストのロギングに関する情報 \(1 ページ\)](#)
- [標準 IP アクセス リストのロギングの設定方法 \(2 ページ\)](#)
- [標準 IP アクセス リストのロギングの設定例 \(4 ページ\)](#)
- [標準 IP アクセス リストのロギングに関する追加情報 \(5 ページ\)](#)
- [標準 IP アクセス リストのロギングに関する機能情報 \(6 ページ\)](#)

標準 IP アクセス リストのロギングに関する制限事項

IP アクセス リスト ロギングは、ルーティング インターフェイスまたはルータ アクセス コントロール リスト (ACL) でのみサポートされます。

標準 IP アクセス リストのロギングに関する情報

標準 IP アクセス リストのロギング

標準 IP アクセス リストのロギング機能は、標準 IP アクセス リストによって許可または拒否されるパケットに関するメッセージをロギングする機能を提供します。アクセスリストに一致するパケットによって、デバイスコンソールに送信されるパケットに関する情報ロギングメッセージが生成されます。デバイスコンソールに記録されるメッセージのログレベルは、**logging console** コマンドによって制御されます。

アクセスリストが最初に検査したパケットがアクセスリストをトリガーし、デバイスコンソールにメッセージをロギングします。後続のパケットは、5 分間隔で収集された後、表示または

ロギングされます。ログメッセージには、アクセスリスト番号、パケットの送信元 IP アドレス、その送信元からの、直前の5分間隔に許可または拒否されたパケットの数、およびパケットが許可されたか拒否されたかに関する情報が含まれます。特定のアクセスリストによって許可または拒否された複数のパケットについて、各パケットの送信元アドレスなどをモニターすることができます。

標準 IP アクセス リストのロギングの設定方法

番号を使用した標準 IP アクセス リストの作成

手順の概要

1. **enable**
2. **configure terminal**
3. **access-list access-list-number {deny | permit} host address [log]**
4. **access-list access-list-number {deny | permit} any [log]**
5. **interface type number**
6. **ip access-group access-list-number {in | out}**
7. **end**

手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	enable 例： Device> enable	特権 EXEC モードを有効にします。 • パスワードを入力します（要求された場合）。
ステップ 2	configure terminal 例： Device# configure terminal	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 3	access-list access-list-number {deny permit} host address [log] 例： Device(config)# access-list 1 permit host 10.1.1.1 log	送信元アドレスとワイルドカードを使用して、標準の名前付き IP アクセス リストを定義し、デバイス コンソールでアクセス リスト エントリと一致したパケットに関する情報メッセージのロギングを設定します。
ステップ 4	access-list access-list-number {deny permit} any [log] 例： Device(config)# access-list 1 permit any log	送信元の省略形および送信元マスク 0.0.0.0 255.255.255.255 を使用して、標準の名前付き IP アクセス リストを定義します。
ステップ 5	interface type number 例：	インターフェイスを設定し、インターフェイス コンフィギュレーション モードを開始します。

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 6	ip access-group <i>access-list-number</i> { in out } 例： Device(config-if)# ip access-group 1 in	指定した番号付きアクセスリストを着信または発信インターフェイスに適用します。 <ul style="list-style-type: none"> 送信元アドレスに基づいてフィルタする場合、一般的に、着信インターフェイスにアクセスリストを適用します。
ステップ 7	end 例： Device(config-if)# end	インターフェイス コンフィギュレーション モードを終了し、特権 EXEC モードを開始します。

名前を使用した標準 IP アクセス リストの作成

手順の概要

1. **enable**
2. **configure terminal**
3. **ip access-list standard** *name*
4. {**deny** | **permit**} {*host address* | **any**} **log**
5. **exit**
6. **interface** *type number*
7. **ip access-group** *access-list-name* {**in** | **out**}
8. **end**

手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	enable 例： Device> enable	特権 EXEC モードを有効にします。 <ul style="list-style-type: none"> パスワードを入力します（要求された場合）。
ステップ 2	configure terminal 例： Device# configure terminal	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 3	ip access-list standard <i>name</i> 例： Device(config)# ip access-list standard acl1	標準の IP アクセス リストを定義して、標準の名前付きアクセスリスト コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 4	{ deny permit } { <i>host address</i> any } log 例： Device(config-std-nacl)# permit host 10.1.1.1 log	パケットがネットワークに入らないように拒否したり、パケットがネットワークに入ることを許可したりする名前付き IP アクセス リストで条件を設定し、

	コマンドまたはアクション	目的
		デバイス コンソールでアクセス リスト エントリと一致するパケットに関する情報メッセージのロギングを設定します。
ステップ 5	exit 例： Device(config-std-nacl)# exit	標準の名前付きアクセス リスト コンフィギュレーション モードを終了し、グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 6	interface type number 例：	インターフェイスを設定し、インターフェイス コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 7	ip access-group access-list-name {in out} 例： Device(config-if)# ip access-group acl1 in	指定したアクセス リストを着信または発信インターフェイスに適用します。 • 送信元アドレスに基づいてフィルタする場合、一般的に、着信インターフェイスにアクセス リストを適用します。
ステップ 8	end 例： Device(config-if)# end	インターフェイス コンフィギュレーション モードを終了し、特権 EXEC モードを開始します。

標準 IP アクセス リストのロギングの設定例

例：数字を使用した標準 IP アクセス リストの作成

```
Device# configure terminal
Device(config)# access-list 1 permit host 10.1.1.1 log
Device(config)# access-list 1 permit any log

Device(config-if)# ip access-group 1 in
```

例：名前を使用した標準 IP アクセス リストの作成

```
Device# configure terminal
Device(config)# ip access-list standard acl1
Device(config-std-nacl)# permit host 10.1.1.1 log
Device(config-std-nacl)# exit

Device(config-if)# ip access-group acl1 in
```

例：デバッグ出力の制限

次の設定例では、アクセスリストを使用して、**debug** コマンドの出力を制限します。**debug** の出力を制限すると、データ量が絞られ、目的のデータを探しやすくなるため、時間とリソースを節約できます。

```
Device(config)# ip access-list acl1
Device(config-std-nacl)# remark Displays only advertisements for LDP peer in acl1
Device(config-std-nacl)# permit host 10.0.0.44
```

```
Device# debug mpls ldp advertisements peer-acl acl1

tagcon: peer 10.0.0.44:0 (pp 0x60E105BC): advertise 172.17.0.33
tagcon: peer 10.0.0.44:0 (pp 0x60E105BC): advertise 172.16.0.31
tagcon: peer 10.0.0.44:0 (pp 0x60E105BC): advertise 172.22.0.33
tagcon: peer 10.0.0.44:0 (pp 0x60E105BC): advertise 192.168.0.1
tagcon: peer 10.0.0.44:0 (pp 0x60E105BC): advertise 192.168.0.3
tagcon: peer 10.0.0.44:0 (pp 0x60E105BC): advertise 192.168.1.33
```

標準 IP アクセス リストのロギングに関する追加情報

関連資料

関連項目	マニュアルタイトル
セキュリティ コマンド	<ul style="list-style-type: none"> • 『Cisco IOS Security Command Reference: Commands A to C』 • 『Cisco IOS Security Command Reference: Commands D to L』 • 『Cisco IOS Security Command Reference: Commands M to R』 • 『Cisco IOS Security Command Reference: Commands S to Z』

シスコのテクニカル サポート

説明	リンク
右の URL にアクセスして、シスコのテクニカル サポートを最大限に活用してください。これらのリソースは、ソフトウェアをインストールして設定したり、シスコの製品やテクノロジーに関する技術的問題を解決したりするために使用してください。この Web サイト上のツールにアクセスする際は、Cisco.com のログイン ID およびパスワードが必要です。	http://www.cisco.com/cisco/web/support/index.html

標準 IP アクセス リストのロギングに関する機能情報

次の表に、このモジュールで説明した機能に関するリリース情報を示します。この表は、ソフトウェア リリース トレインで各機能のサポートが導入されたときのソフトウェア リリースだけを示しています。その機能は、特に断りがない限り、それ以降の一連のソフトウェア リリースでもサポートされます。

プラットフォームのサポートおよびシスコソフトウェアイメージのサポートに関する情報を検索するには、Cisco Feature Navigator を使用します。Cisco Feature Navigator にアクセスするには、www.cisco.com/go/cfn に移動します。Cisco.com のアカウントは必要ありません。

表 1: 標準 IP アクセス リストのロギングに関する機能情報

機能名	リリース	機能情報
標準 IP アクセス リストのロギング		標準 IP アクセス リストのロギング機能は、標準 IP アクセス リストによって許可または拒否されるパケットに関するメッセージをロギングする機能を提供します。アクセス リストに一致するパケットによって、デバイス コンソールにあるパケットに関する情報メッセージがロギングされます。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。